

環境学委員会環境科学・環境工学分科会小委員会の設置について

分科会等名：環境工学連合小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○環境学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>環境工学の学術的課題は多岐にわたり、様々な学協会が協力して、その学術の発展を支える必要がある。</p> <p>環境工学連合講演会は、日本学術会議主催の下、20の学協会が協力して、日本学術会議の活動として支えてきたものであり、ほぼ毎年1回開催し、1986年の初回開催以降、既に35回の実績がある。</p> <p>本小委員会は、第23期中に土木工学・建築学委員会学際連携分科会の下で設置され、第24～25期には土木工学・建築学委員会企画分科会の下に設置されていた。第26期は、環境学委員会傘下の分科会（25期までの環境科学分科会を環境科学・環境工学分科会と改称）に移管して継承し、講演会活動をはじめとする、環境工学分野連携の充実を目的に設置するものである。</p>
4	審議事項	<p>1. 年1回、関連学協会と協力して開催する、環境工学連合講演会の企画・実行</p> <p>2. 環境工学分野連携の充実に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年2月29日～令和8年9月30日
6	備考	講演会の企画を輪番で担当する8幹事学会のうち4学会（土木学会、日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本水環境学会）が土木工学・建築学委員会に関連が深いが、本小委員会の学際性はそれにとどまるものではないことも勘案して、環境学委員会傘下に移管する。